

## フブ・服部の中国通信

## おっ、この傘テレビで見たな！



最近（現地の人と言うにはもう一年からになるそうですが）、↑のような傘を装着したバイクを少し田舎に行った所でよく見ます。

このちょっと特殊な形の傘、“SENZ”というオランダのメーカーが発売している物で（純正品かどうかは知りません・・・知らぬが花というものです）

なんでもこの特殊な形状が風の抵抗を逃がし、最大で台風級の雨風でも折れないという恐るべき性能を秘めているそうです。実際にフジテレビ系列の“ほこ×たて”という番組では風速40m級の風を受けても折れずに耐えていました。

なるほど確かにバイクの晴雨兼用傘としては最適だけど、日本の道交法下では通らないだろうなあ、と思って見ていたのですが、**やはり中国でも本当は禁止だそうです(笑)**

この傘、風向きに応じて向きを変えようとする性質があるそうで、通常の道を走るなら基本風の抵抗は進行方向と逆が一番強いはずなので特に問題はないのですが、例えばあまりスピードの出せない街中などで、横風が吹いてしまったりすると、長く伸びた後の部分が回転してしまい危険なのだそうです。

また、厦門市内ではそもそもバイク自体が禁止だそうです、お目にかかることもほとんど無いかと思いますが、崇武界限ではまだまだ現役、お目にかかった際にはああ、日本石材センターが言っていたのはあれだな、とニヤリとしていただければわが意を得たり、という所であります。

さて、私の住む近畿圏ではようやく梅雨らしい天気になってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？  
今月は狙っていた黒竜江省出張を上司のHさんにとられてしまい、事務所で留守番をしていますわたし  
でございます。

今回は江西省の丁場紹介をさせて頂く予定でしたが、少々予定を変更しG 6 1 4に関するお話をさせて頂  
きます。弊社営業員からもご説明させていただいているとおり、今年に入ってからG 6 1 4の状況が  
非常によろしくなく、今後の状況についてもあまり良い展望が見えず、またこのまま放置しておくには  
G 6 1 4という石の市場があまりにも大きすぎるためこの場を借りて改めてご報告させて頂く事とし  
ました。

## G 6 1 4 について

今までG 6 1 4-5（薄手細目）、G 6 1 4-7（濃手中目）。G 6 1 4といえばこの二種だったのです  
が、現在二種ともに丁場が停止、ちらほらと盗掘の情報は入ってきますが、まとまった量の出る状態  
での再開の望みは薄い状況です。現在各社ともに在庫をやりくりしている状況で、使い切ったらこれらの  
掘り口の石は無くなります。

現状、唯一採掘している丁場は濃手中目系で、G 6 1 4-7と言って販売している工場もあります。  
これを使って下さい、と言いたいところなのですが、原石に錆点があり、製品にしても省けそうもあ  
りません。工場の説明ではこれは広がらないとの事で、私も現在塩水につけて実験中、今のところ広がり  
の兆候はありませんが、それでも錆びないと言い切るには少々弱く、積極的にお勧めできる状況には  
ありません。

弊社の判断としてはG 6 1 4、残念ながら消えていく方向と見ております。段階的に別石種に切り替え  
て頂くよう、よろしく願いいたします。

代替石種としては、当方でも数種ご提案の準備をさせて頂いておりますが、追加でも鋭意開発中です。  
詳しくは弊社営業員までお問い合わせください。

あまり良くない情報ではありますが、これをビジネスチャンスとできるよう、我々仕入部門一同も頑張  
っております、今後ともどうぞご最良に、よろしく願いいたします。

それでは今回はこのあたりにさせて頂きます。ここまでお付き合いいただきありがとうございます

FUBU